

早川町の言語地図

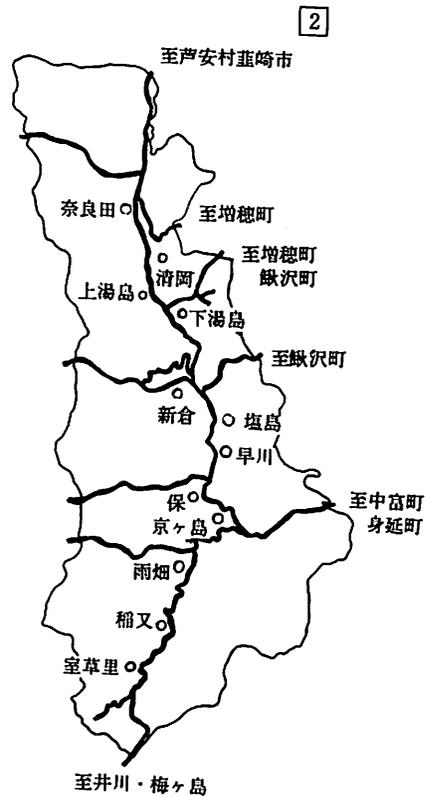
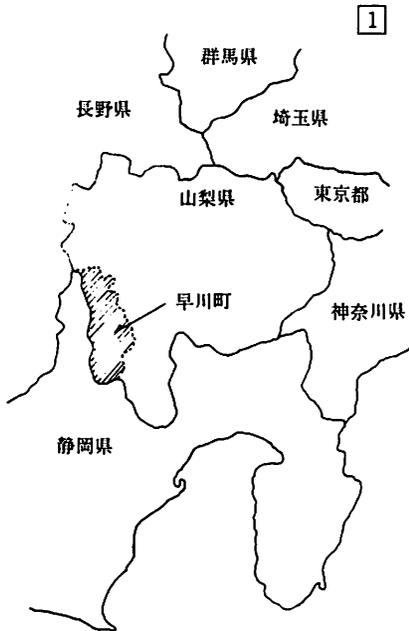
前島千春

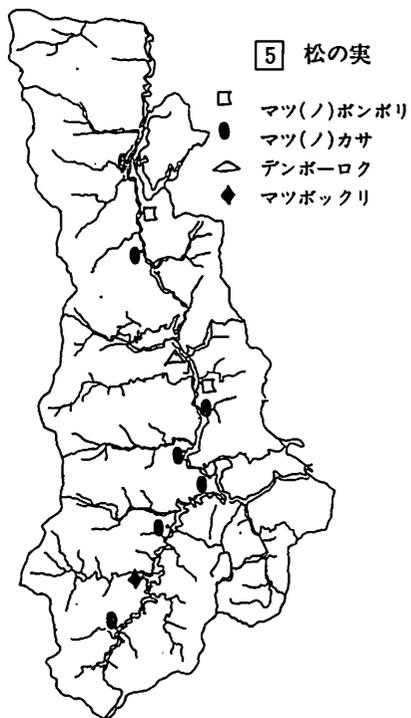
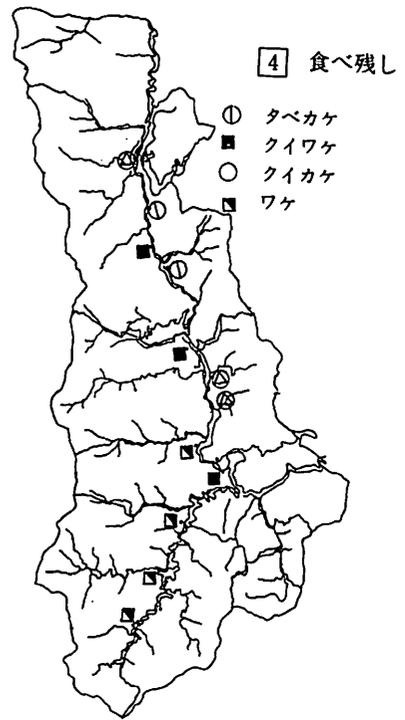
山梨県南巨摩郡早川町は、県の西端部に位置し、楡形山系および南アルプスの最高峰白根三山に囲まれた山岳地帯で、中央を早川が南北に貫流している。面積は、県下の市町村中最大であるが、その約90%は山地である。そのため、産業も、自給自足程度の焼畑農業と養蚕業およびせいろ・はち・ひしゃくなど木の加工物（まげわ）の生産を行なうくらいであった。最近では、温泉や早川に作られたダムへの観光客や南アルプスへの登山客が増え、観光地としての面もでてきた。

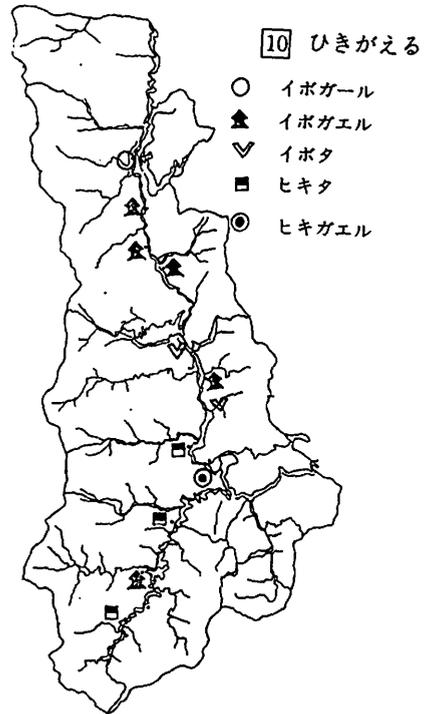
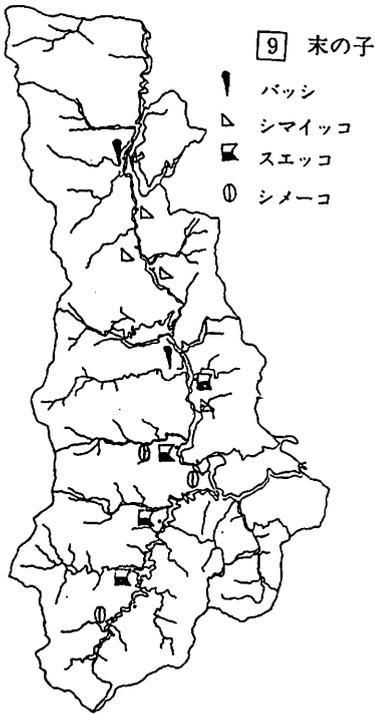
主な道路は、早川街道をはじめ早川およびその支流沿いに走り、町の東、富士川沿いの身延町や鉢沢町な

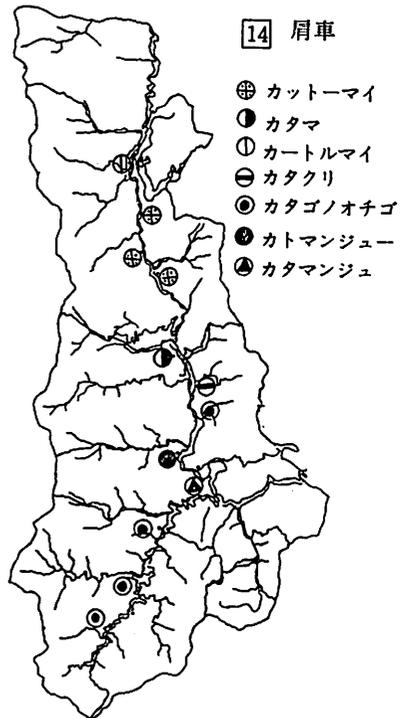
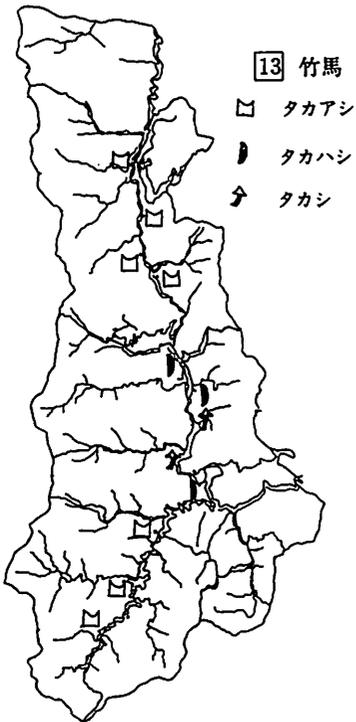
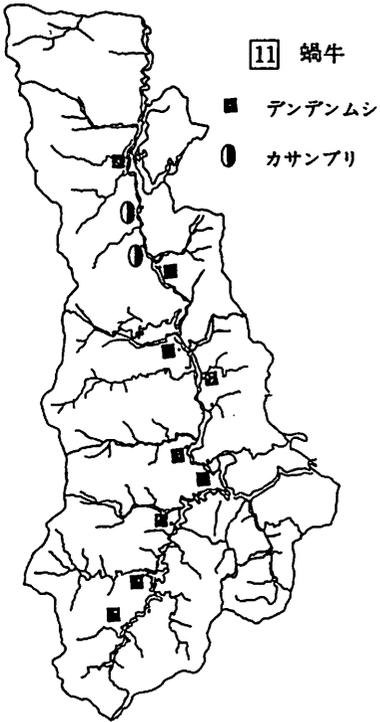
どと結ぶ。特に峠越えの道は、昔、まげわなどと生活物資との交換のために用いられていた。この他、山間の道は、大井川最上流域、静岡市井川にも通じているが、海拔2,000m前後の山を越えることになる。（地図2参照）現在バスは、北は奈良田、南は雨畑まで運行している。

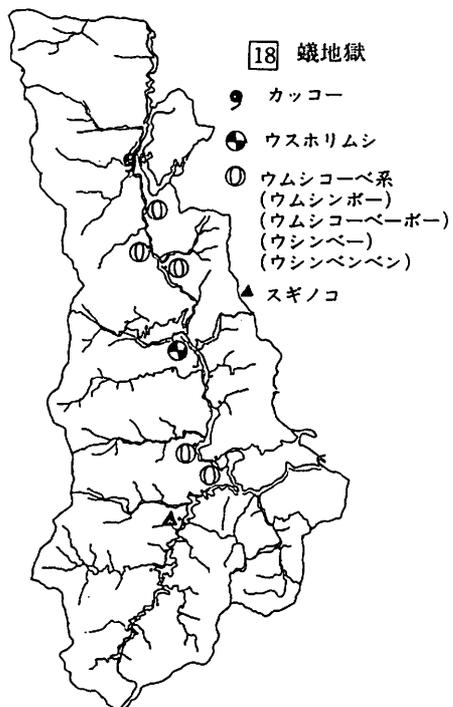
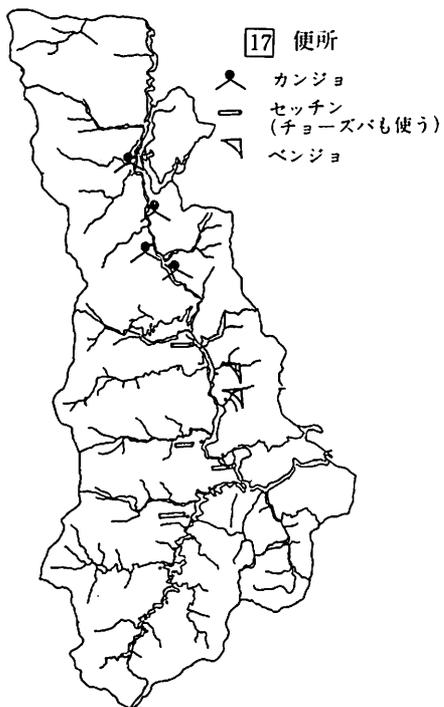
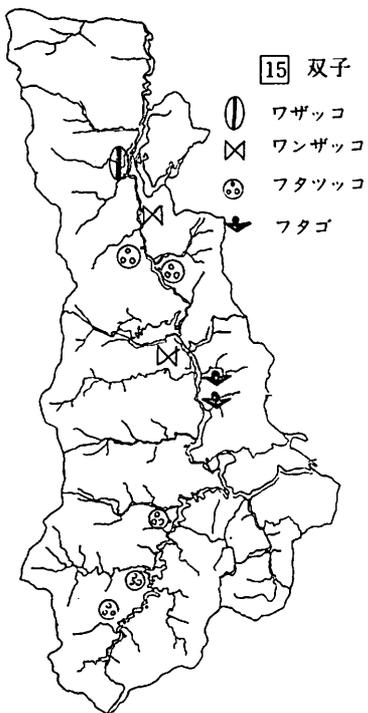
早川の上流には、そのアクセントなどで有名な奈良田がある。今回の調査は、この奈良田をはじめとする早川町12地点について、臨地調査により、語彙項目20をとりあげ調べたものである。本稿ではそのうち19項目の地図を示す。

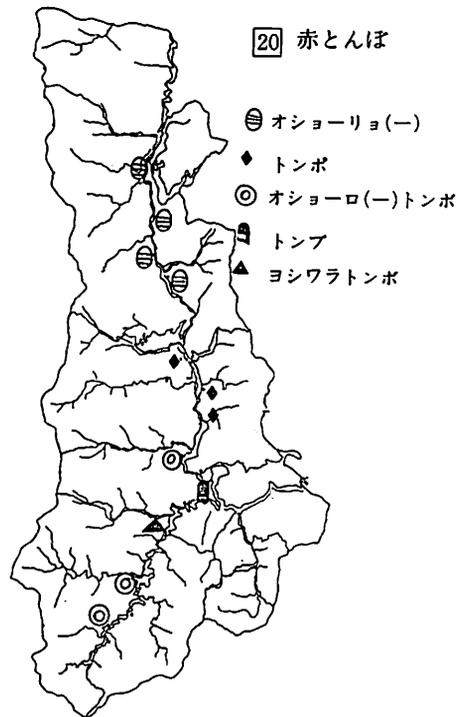
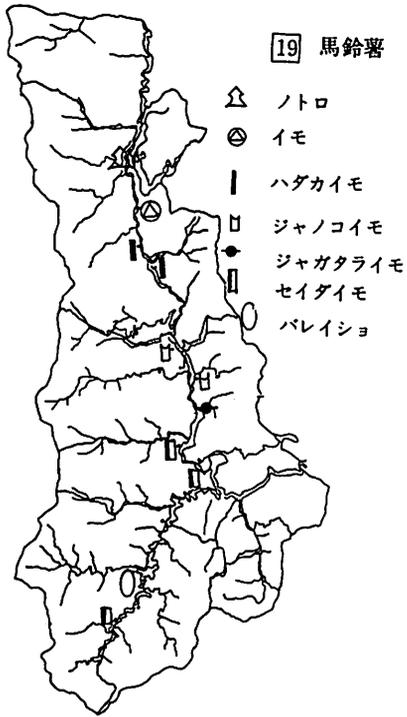












(編集委員会注)

「早川町の言語地図」は、60枚(地図を含む)にわたる前島氏(法政大学)の卒業論文をお寄せいただいたものであるが、紙数が多すぎるため、編集委員会で再編させていただいた。氏と連絡が思うようにつかず、調査の概要は、編集委員会の責任で短くまとめたことをおことわりしておく。地図は、一項目の地図を取り

除き、こちらで地図1を加えた他は、すべて氏の原因通りである。また、卒業論文の原題は「早川町の言語地理学的調査」であったが、再編に伴い、編集委員会で標記のようにさせていただいた。

なお、第5号からの投稿規定は、本紙奥付でのそれを御覧いただきたい。